



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年8月2日

上場会社名 株式会社 ワットマン 上場取引所 JQ
 コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理管掌 経理総務グループ部長 (氏名) 稲尾 ひろ代 TEL (045)959-1100
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 平成 -年 -月 -日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	828	△1.2	56	△22.4	60	△15.4	51	△26.4
22年3月期第1四半期	838	20.1	72	356.2	71	158.5	69	212.1

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	4	68	—	—
22年3月期第1四半期	6	35	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	3,286		2,002		60.9	183	05	
22年3月期	3,359		2,001		59.6	182	93	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,002百万円 22年3月期 2,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	0 00	—	2 00	2 00	00
23年3月期	—					
23年3月期(予想)		0 00	—	2 00	2 00	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,650	1.9	135	12.2	130	12.0	128	11.2	—	—
通期	3,300	1.7	270	4.1	260	5.1	255	△5.6	23	31

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	11,368,541株	22年3月期	11,368,541株
23年3月期1Q	427,816株	22年3月期	427,816株
23年3月期1Q	10,940,725株	22年3月期1Q	10,940,725株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する定性的情報	2
(2)	財政状態に関する定性的情報	3
(3)	業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	4
(1)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3)	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3.	四半期財務諸表	5
(1)	四半期貸借対照表	5
(2)	四半期損益計算書	7
	【第1四半期累計期間】	7
(3)	四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	継続企業の前提に関する注記	9
(5)	セグメント情報	10
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4.	補足情報	12
	仕入及び販売の状況	12

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当事業年度におけるわが国経済は、世界的な景気後退局面から経済政策等の実施により一部に景気回復の兆しが見られるものの、依然金融不安や雇用問題等の影響により所得の減少を受けて生活防衛意識や節約志向が一段と高まり、デフレの進行から引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大期の第三期と位置付けており、マニュアルの充実によりマネジメント力の強化を図る所存です。

営業政策面では、展示アイテム数を増加させることを第一に捉え、積極的な買い取りを継続し、商品化力を高め、良質在庫の増大に努めてまいりました。また、商品鮮度を常に保つため、在庫の早期売価変更と売場への継続的な商品供給を行い、売場の活性化からお客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額・率の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

なお、新店として扱う店舗はブックオフ横須賀中央店のみとなります。

(1) 売上高

(既存店)

既存店売上高は、営業政策を徹底推進させましたが、前年同期間比46百万円(5.6%)減収の7億92百万円となりました。

(新店)

前事業年度中に新たに開設した店舗(ブックオフ横須賀中央店)1店の売上高は36百万円となりました。

この結果、売上高は前年同期間比9百万円(1.2%)減収の8億28百万円となりました。

事業部門別の売上高は以下のとおりです。

(オフハウス事業)

婦人服・メンズ衣料品、貴金属、バッグが健闘いたしましたが、売上高は前年同期間比13百万円(3.3%)減収の3億95百万円となりました。

(ハードオフ事業)

コンピュータ・ビジュアル商品の積極的な買取強化により健闘いたしましたが、売上高は前年同期間比18百万円(8.3%)減収の2億6百万円となりました。

(ブックオフ事業)

書籍(コミック・文庫本)やゲームソフト・DVDソフトが順調に推移し、また新店の健闘が大きく、売上高は前年同期間比22百万円(10.8%)増収の2億25百万円となりました。

(2) 営業利益

(既存店)

既存店営業利益は、売上総利益率が前年同期間比1.9ポイント改善しましたが、売上高が減少したことにより、前年同期間比13百万円(18.4%)減益の59百万円となりました。

(新店)

前事業年度中に新たに開設した店舗の営業利益は、当四半期累計期間は業績が順調に推移いたしました。が、2百万円の営業損失となりました。

この結果、営業利益は前年同期間比16百万円(22.4%)減益の56百万円となりました。

(3) 経常利益

営業外収益が10百万円、営業外費用が6百万円となり、経常利益は前年同期間比11百万円(15.4%)減益の60百万円となりました。

(4) 四半期純利益

純利益は前年同期間18百万円(26.4%)減益の51百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて33百万円減少し、12億4百万円となりました。これは主に現金及び預金が26百万円減少し、商品が7百万円が減少したことなどによります。

固定資産は、20億82百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ72百万円減少し、32億86百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて7百万円減少し、4億57百万円となりました。これは主に、1年内返済長期借入金が12百万円減少、賞与引当金が11百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて66百万円減少し、8億26百万円となりました。これは主に、長期借入金が62百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ73百万円減少し、12億84百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ1百万円増加し、20億2百万円となりました。これは主に、利益剰余金が29百万円増加し、その他有価証券評価差額金が27百万円減少したことによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年3月期決算短信にて平成22年5月14日発表の業績予想に変更ありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期累計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

四半期ごとの資産増減実績を加味した年間償却予定額の月割累計相当額から、以前の四半期決算に計上した償却累計額を控除した額を、当該四半期決算の償却額とする方法によっております。

3. 法人税等の計上基準

法人税等の計上基準は、年間業績予測に基づく簡便法により計算しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益が7百万円減少しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項ありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	473,685	499,969
売掛金	16,092	18,717
商品	540,652	547,751
その他	173,892	171,476
流動資産合計	1,204,323	1,237,915
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	411,267	408,412
土地	583,125	583,125
その他	80,388	86,325
有形固定資産合計	1,074,782	1,077,864
無形固定資産	22,943	5,816
投資その他の資産		
長期預け金	728,829	748,447
その他	256,038	289,332
投資その他の資産合計	984,867	1,037,779
固定資産合計	2,082,593	2,121,460
資産合計	3,286,916	3,359,375
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,431	6,524
1年内返済予定の長期借入金	238,642	251,456
未払法人税等	4,950	14,220
賞与引当金	9,000	20,000
その他	200,905	172,860
流動負債合計	457,929	465,061
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	462,948	525,637
その他	163,307	167,316
固定負債合計	826,255	892,953
負債合計	1,284,184	1,358,014

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	622,802	593,533
自己株式	△56,983	△56,983
株主資本合計	2,747,552	2,718,283
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△63,432	△35,535
土地再評価差額金	△681,387	△681,387
評価・換算差額等合計	△744,820	△716,922
純資産合計	2,002,732	2,001,360
負債純資産合計	3,286,916	3,359,375

(2) 四半期損益計算書
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	838,595	828,670
売上原価	314,548	300,101
売上総利益	524,046	528,568
販売費及び一般管理費	451,147	471,970
営業利益	72,899	56,598
営業外収益		
受取利息	2,190	2,034
受取配当金	3,230	5,977
雑収入	2,754	2,497
営業外収益合計	8,174	10,510
営業外費用		
支払利息	5,722	4,239
社債利息	954	990
雑損失	2,609	1,096
その他	164	210
営業外費用合計	9,450	6,536
経常利益	71,623	60,572
特別損失		
固定資産除却損	151	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,431
特別損失合計	151	7,431
税引前四半期純利益	71,471	53,141
法人税等	1,950	1,991
四半期純利益	69,521	51,150

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	71,471	53,141
減価償却費	18,030	17,988
長期前払費用償却額	7,526	2,284
差入保証金償却額	—	7,790
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,500	△11,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,128	—
前払年金費用の増減額(△は増加)	—	△299
受取利息及び受取配当金	△5,420	△8,012
支払利息	6,676	5,229
有形固定資産除却損	151	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,284	2,624
たな卸資産の増減額(△は増加)	30,491	7,099
仕入債務の増減額(△は減少)	2,056	△2,092
未払費用の増減額(△は減少)	△5,242	25,202
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,228	△21,280
その他の資産の増減額(△は増加)	△7,275	△9,912
その他の負債の増減額(△は減少)	△6,320	592
小計	122,463	69,355
利息及び配当金の受取額	3,281	6,048
利息の支払額	△6,834	△5,168
法人税等の支払額	△8,112	△7,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,797	62,505
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,321	△4,882
長期預り金の返還による支出	—	△4,000
敷金及び保証金の回収による収入	16,561	13,911
敷金及び保証金の差入による支出	—	△300
その他	113	3,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,353	8,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△80,000	—
長期借入金の返済による支出	△102,764	△75,503
配当金の支払額	△21,881	△21,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,645	△97,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△85,494	△26,283
現金及び現金同等物の期首残高	464,962	489,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	379,467	463,685

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業別セグメントから構成されており、「ハードオフ事業」及び「オフハウス事業」、「ブックオフ事業」の3つを報告セグメントとしております。

[各区分の主な商品]

- [1] ハードオフ事業・・・オーディオ・ビジュアル・PC・ゲーム機・楽器・CD・DVD
・カメラなどのリユース品
- [2] オフハウス事業・・・バッグ・貴金属・時計・家具・インテリア・ギフト・生活雑貨
・婦人服・メンズ服・ベビー&子供服・スポーツ用品・白物家電
・アウトドア用品・ホビー等のリユース品
- [3] ブックオフ事業・・・書籍・CD・DVD・ビデオ・ゲームソフト等のリユース品

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ハードオフ 事業	オフハウス 事業	ブックオフ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	206	395	225	828	-	828
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	206	395	25	828	-	828
セグメント利益	25	66	30	122	-	122

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	122
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	△66
棚卸資産の調整額	-
四半期損益計算書の営業利益	56

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
該当事項はありません。

4. 補足情報

仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	金額(千円)
ハードオフ事業	78,506
オフハウス事業	118,187
ブックオフ事業	96,308
合計	293,002

(注) 1 金額は仕入価格によっております。

2 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2. 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	金額(千円)
ハードオフ事業	206,728
オフハウス事業	395,954
ブックオフ事業	225,987
合計	828,670

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税は含まれておりません。